

製品名: アンジオテンシノーゲンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe03924

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質を含む液体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:52 kDa;Observed MW: 52 kDa

抗原情報

遺伝子名	AGT
別名	AGT; SERPINA8; Angiotensinogen; Serpin A8
遺伝子 ID	183
SwissProt ID	P01019
免疫原	ヒトアンジオテンシノーゲンの合成ペプチド

背景

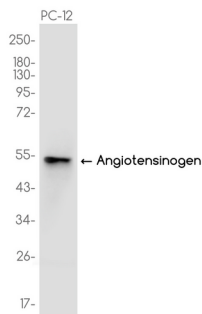
アンジオテンシンは、肝臓で産生され、血漿中の α グロブリン分画中に存在する前駆体であるアンジオテンシノーゲンから生成され

まず、AT1 を介したアンジオテンシン刺激は、共免疫沈降法によって実証されているように、JAK2 と AT1 の直接的な相互作用を伴う JAK/Stat 経路を活性化することが示されています。

研究分野

心血管系

画像データ



アンジオテンシノーゲン抗体を使用した PC-12 溶解物中のアンジオテンシノーゲンのウエスタンブロット分析。